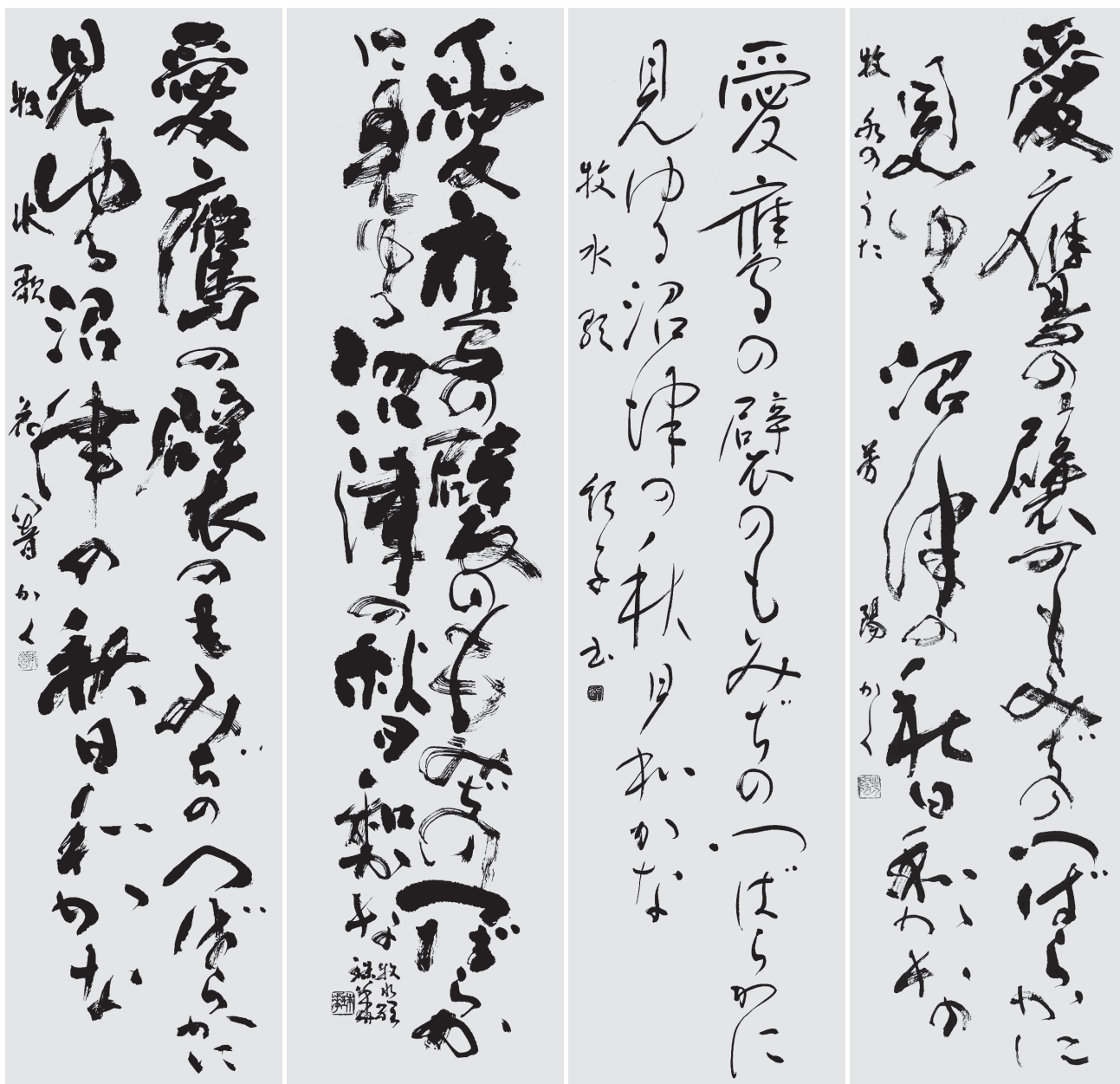


桜井辰雄先生選評



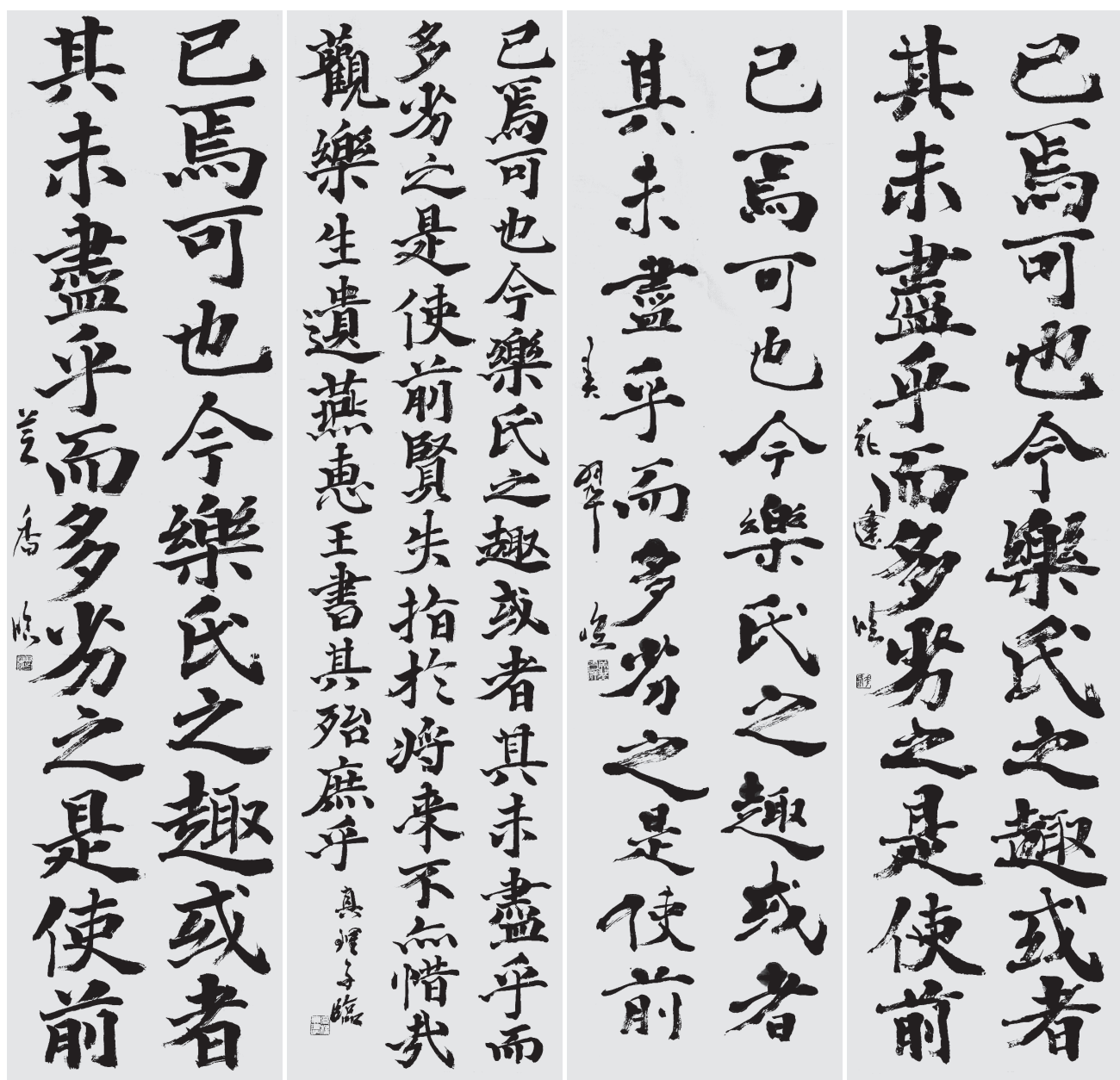
鈴木芳陽 推選  
まるで一幅の朗々たる漢字  
条幅連綿作品に向き合えた  
喜びを感じる秀作。曲直、  
大小、強弱、潤渇に俯仰が  
加わり、曲水の宴を一本の  
筆で描いている。平仮名処  
理も上手い。

米倉紀子 推選  
水面に残された上級スケー  
ターの軌跡を見るように、  
参考作品を考慮しながらも  
自分のリズムで一気呵成に、  
端正で淀みない筆跡が紙面  
に大らかで美しい景色を描  
いている秀作。

阿山珠華 推選  
左右に余白を残し文字を中  
央に寄せ、硬めの筆を用い  
て漢字も平仮名も苦にせず  
自由奔放に笑顔で楽しみな  
がら書かれている情景が浮  
かぶ。文字造形に見る豊か  
な表現も秀逸。

梅原花響 推選  
重量感のある濃墨を筆に纏  
わせ書かれているが、疎密  
や渴筆も適度に加わり大字  
と中・小字との組み合わせ  
表現が巧みで軽妙さも感じ  
る秀作。平仮名の運筆速度  
に変化が欲しい。

伊藤漢仙先生選評



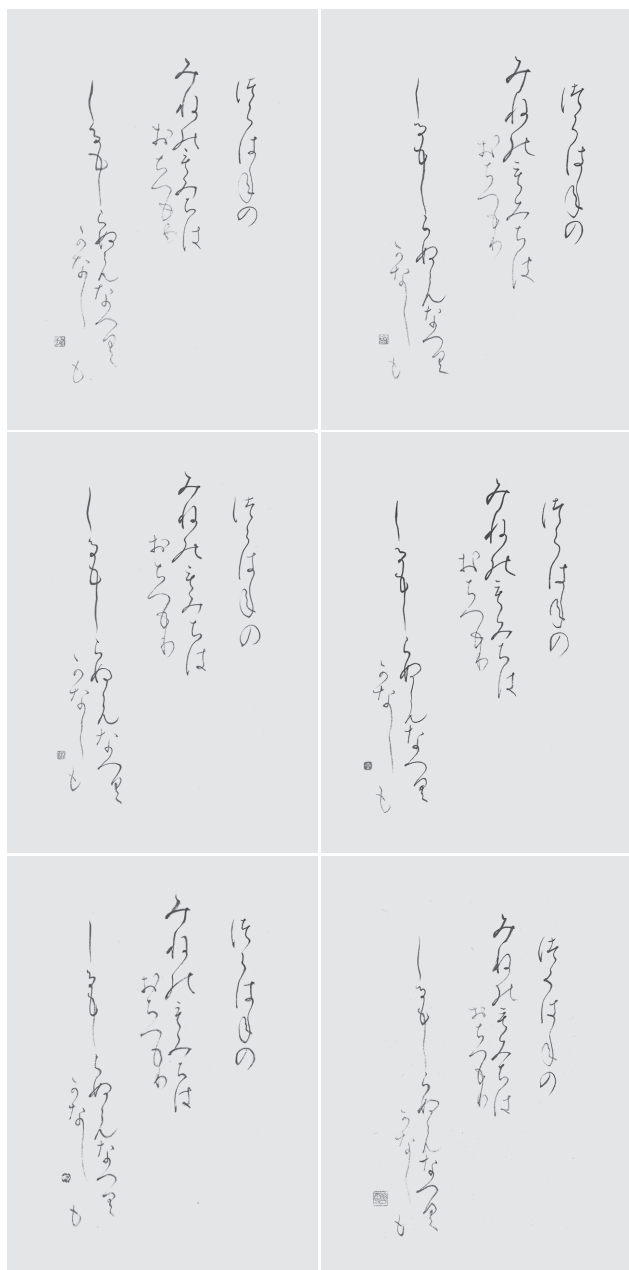
**進藤花逢** 推選  
濃墨で強靱な線質、揺るぎない運筆が素晴らしいです。横画、縦画の起筆の書き方等、良く光明皇后樂毅論の特徴を捉えています。潤渴の変化も自然です。

**木村美翠** 推選  
樂毅論の臨書としては、意臨ですが、なんとも言えない暖かみのある作品で、心が豊かになります。白の余白が綺麗で、滲みも作品効果を上げています。

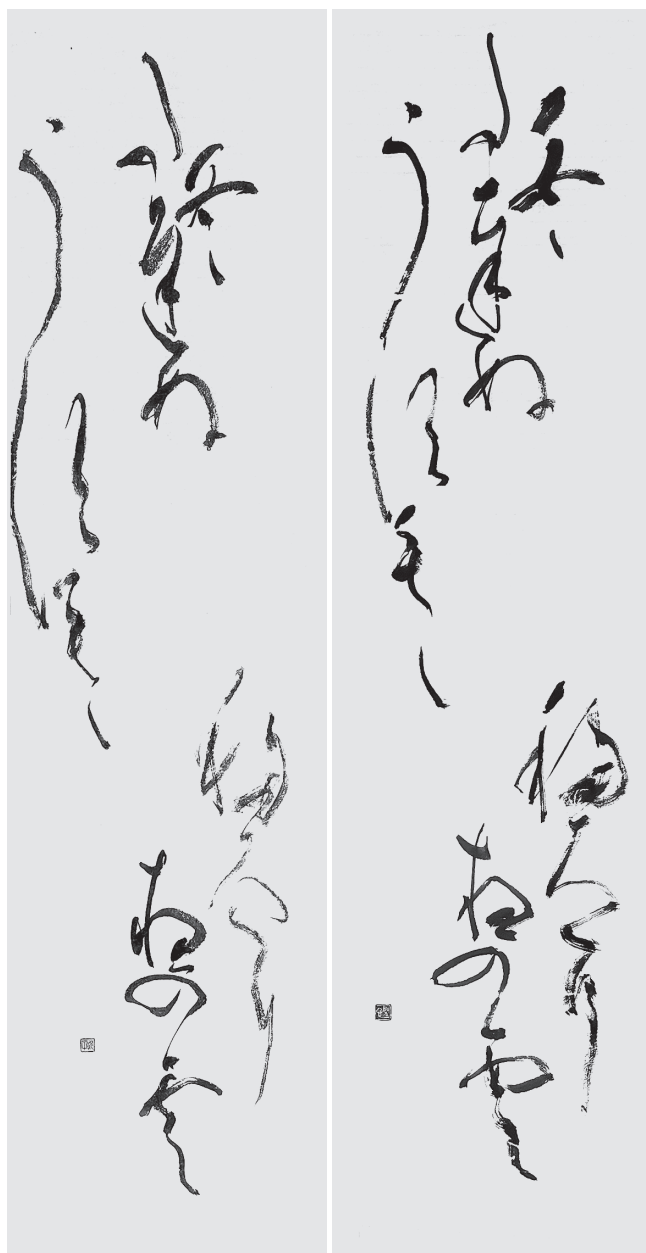
**高橋真理子** 推選  
半折三行書きの作品は、章法が抜群で、清々しい作品となりました。原帖を良く観察して、筆力の強さや、リズム良くメリハリのある用筆が、心地よいです。

**今井芝香** 推選  
運腕大きく、伸びやかな字形は、健康的で明るい作品です。「己」から「前」迄、一貫性のある筆致が見事です。横画の細線や、縦画の太い線もバランスが良く立派です。

佐々木優子先生選評



吉澤真理先生選評



松下聖心 推選

濃墨で筆力ある線質が存在感を發揮しスケールの大きな作品となりました。迷いのない運筆から生み出される紙にくい込む線は引き締まり魅力的です。

小林悦子 推選

柔軟で伸びやかに表現されました。一、二行目が寄り添い、三行目で大きく躍動して、良いリズムに乗りました。作品に広がりがあります。

畑井智子 師範

大らかな運筆でリズムにのって書作され、墨の濃淡の変化美しく練度の高い作品です。墨量が少なくなつてからの運筆が紙面を捉え趣深いです。

桐谷星子 師範

墨色キリリと美しく堂々とした作品です。しっかりと構えの中で伸びやかに運筆しています。後半潤筆部、少々慎重になり重くなったかと。

風間真歩 八段

字の形、大小、細太の変化をよく捉えて書かれていきます。リズムにのり線の変化を更に追求されると紙面に立体感が生まれるかと。

田窪優子 七段

ゆったりとした線質でリズムにのり行の響き合いが美しく余白が生きた作品です。落ち着いたゆつくりした書きぶりは高野切の特徴を良く捉えています。

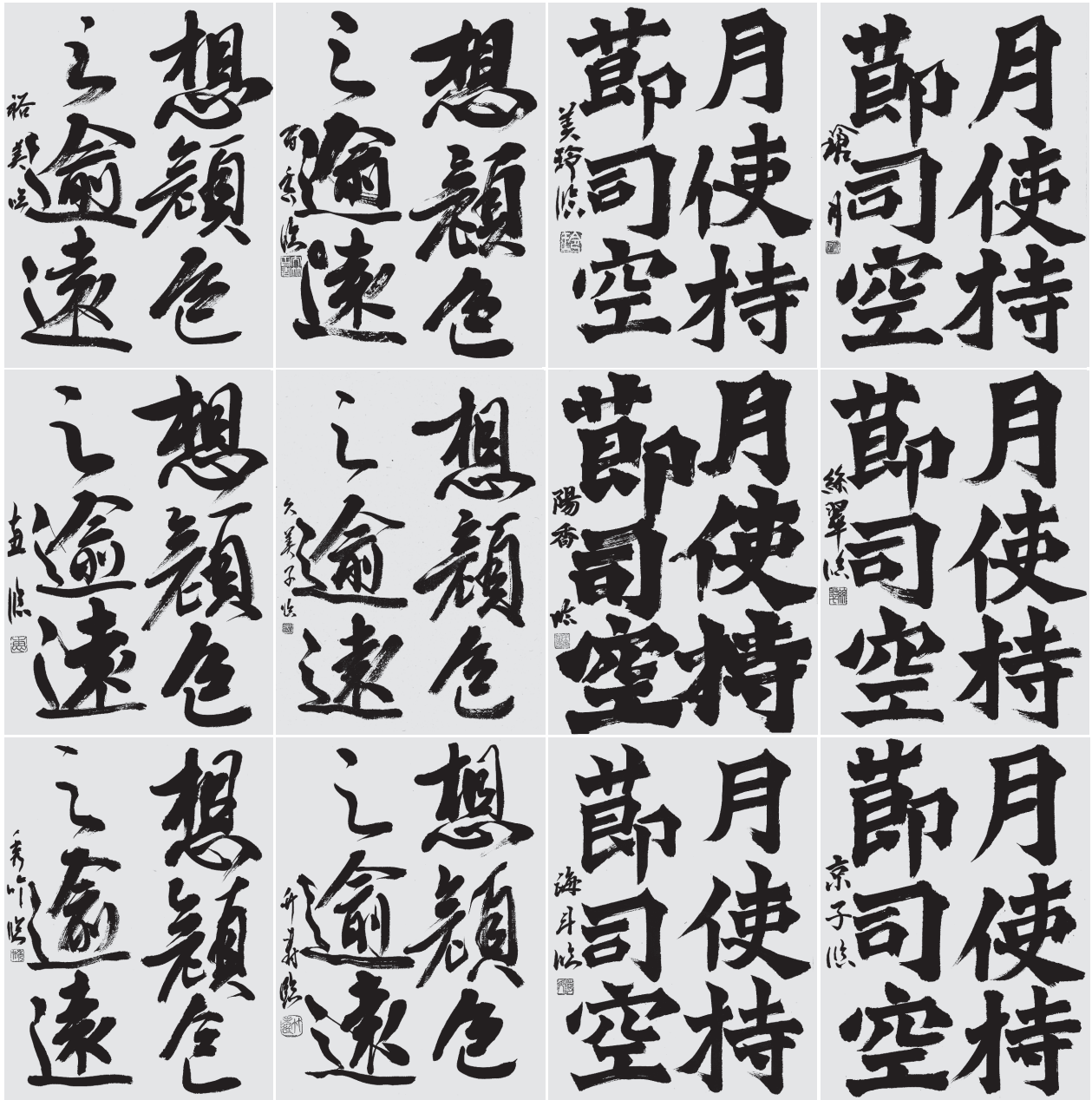
坂本華雪 準師

柔らかく力強い線で表現され、連綿線も確実に書かれ流れが美しいです。墨量が後半少々足りないのが惜しい。余白の美しさがより際立つかと。

藤澤めぐみ 準七

丁寧に字形を習って書かれています。更に筆圧の変化も追求し、細太の自然な美しさを加え、高野切の趣深さを学ばれ次回の作品に繋げて下さい。

藤田壽樹先生選評



芳賀瑠月 師範

真面目な書きぶりが目を惹く。数ある造像記の中でも理知的で情趣に富んだ品格の高い牛楸の特徴を良く表現して素晴らしい落款も見事。

吉田陽香 二級

牛楸造像記の理知的な結構を良く捉え品格がある。特に偏と旁の関係性で空間を広くあける懐の広さを自然に表現して輝かせている。落款もびたり決まっている。

大竹百香 師範

重厚感と粘りのある線を柔毛筆を駆使して表現。その力量の程を示している。一方で鋭さや躍動感、うねりなども意識すると更に魅力が増すものと思う。

池田裕美 準六

字粒を小ぶりにとり、良く纏めあげられて破綻がない。素直な筆運びと良く暢達した線に心惹かれる。欲を言えば遅速や太細の変化が加わると更に良いと思う。

香川絲翠 師範

細部まで神経の行き届いた筆遣いの周到さを感じる。特に起筆や転折等秀逸。日頃の真摯な学習態度を窺わせて感服。落款も良く流石だ。

吉田陽香 二級

牛楸というよりも始平公造像記を髣髴とさせる作品だと思ふ。しかしその筆法は龍門造像記の様式特徴をしっかりと表現して魅力ある作と思ふ。

上原久美子 準師

結体や筆意共に独特なこの古典を、丁寧に清澄清麗さをもつ自然体で取り組んで佳。本文は達者だが落款は今一歩。研究を望む。

加藤恵 準五

墨量豊かに奇を衒わない素直な線で太細の変化を巧緻に実践、清々しく練度の高い作となっている。健康的で暢びやかな書きぶりに拍手。

河村京子 準七

一点一画が力強い堂々の筆致で書かれて立派。直線を意識した暢びやかで素直な線にも好感が持てる。例えば空の最終画、左に長く引くのも牛楸の特徴だ。

今村海斗 四級

一見優しげに臨書した造像記であるが、細部を見ると厳しい起筆や転折等で爽快で健康的な仕上がりになっている。今後益々楽しみな方だ。

石橋竹寿 八段

この古典の持つ全体の雰囲気や筆意、飛動する線とうねり等々の特徴を鋭い観察眼と表現力を持って見事に発揮。特に軽妙な躍動感や多彩な変化が心憎い。

久保秀竹 二段

紙面にしっかりと食い込む線。一点一画の細部までも良く観察して、それを表現する力量が素晴らしい。今後の期待するところ大です。